

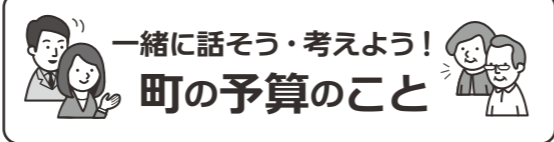
新年度 各会計予算 「私はこう主張する」

新年度予算は原案のとおり可決された。賛成にも反対にも、各議員が町を思ってこそこの理由がある。結果だけではない、今後を生かせ、議員の主張!!



本会議の録画映像が見られます [寄居町議会 議会中継]

- 一般**
 - 反対** 子育て・福祉の充実を
旧城南保育所を鉢形学童保育所に整備して、安心・安全な環境で子育てできる施設の充実を。 大澤 博議員
 - 賛成** 現場主義、町民ニーズ
限られた財源「選択と集中」。町民ニーズをしっかりと受け止め、町民福祉・生活環境の向上を。 稲山良文議員
 - 賛成** 大型事業の予算化
寄居駅南・男衾駅前整備事業、寄居スマートIC整備事業等、大型予算化を評価。 津久井康雄議員
- 国民健康保険**
 - 反対** 滞納者増加が心配
均等割9000円が2万円。平均15.5%の値上げは大変苦しい。 田母神節子議員
 - 賛成** いざという時の最後の砦
増収による脆弱な財政運営の安定化は必須。負担増はやむを得ず。 鈴木詠子議員
- 後期高齢者医療**
 - 反対** 75歳以上は医療費無料に
高齢者の病気の早期発見、早期治療は窓口負担ゼロに。 田母神節子議員
 - 賛成** 社会保障費の増大懸念
団塊世代の加入2025問題は避けては通れない。 稲山良文議員
- 水道事業**
 - 反対** 基本料金の低減を
20m³から10m³に変え、高齢世帯の負担軽減を。 大澤 博議員
 - 賛成** 安全・強靱・持続
人口減少、施設安全化に対応。水は生活に不可欠だ。 保泉周平議員



どう集める? 私たちのお金

Part.3 国民健康保険があぶない!

いつまでも元気で暮らすために... 互いに助け合う負担のあり方、考えたいね。



11年ぶりの 税率改正で 1.3 億円の増収

数字で見る国保

町HP「税務課」



こ・く・ほ・っ・て・ナ・ニ?

日本では、誰もがいずれかの公的医療保険に加入することになっています(国民皆保険)。国民健康保険(国保)はその一つで、いざという時に安心して医療機関にかかれるよう、皆(加入者)がお金(保険税)を出し合って医療費を助け合う制度です。

現状を知る

25%

不足する財源の補填

国民健康保険税収入は被保険者の減少により大きく減少しています。しかし、1人当たりの医療費は一貫して増大しているために苦しい財政運営を余儀なくされ、一般会計からの多額な繰入金(法定外繰入金※グラフ)に依存する形での運営を続けています。法定外繰入金は、国民健康保険以外の健康保険に加入している方にとっては、町全体の人口の約25%の国保加入者のために費用を二重に負担していることとなります。



県広域化

59番目

(所得割率による)

国保の仕組み直し

国保の構造的な課題の解決のため「県広域化」となり、県が示した標準税率を目指すことになりました。近隣市町村が税率改正(値上げ)を進める中、当町は改正に踏み込まず、県内において低いままの税率で推移してきました(63市町村中59位)。

引上げの理由

8.7億

赤字ゼロを目指して

現行税率でいくと、毎年赤字決算となり、令和5年では8億7450万円もの赤字が見込まれますが、令和5年に法定外繰入ゼロという目標の達成に向けて一気に税率改正を行うと、納税額の急増につながります。そこで今回の改正では、単純増加率を15.5%にとどめ、令和4年度以降に再度の税率改正を検討していく予定です(今回の税率改正による増収は1億3348万円の見込み)。

ギカイ議論「私はこう主張する」

大幅値上げに反対
田母神節子議員

赤字連鎖の運営は限界
鈴木詠子議員

社会保障の大きな柱であるのに、国の補助が少ないため、協会けんぽより国保は高い。また低所得者の加入が多いため、滞納者増につながる。今まで同様、一般会計からの繰入で安心できる国保税に。

国保加入者のための二重負担の現状。不公平感は否めない。15.5%の税率改正は、「赤字決算の連鎖」と「一般会計からの多額の繰り入れ」を断ち、現行制度を維持するための妥当な判断。

反対 賛成

軽減拡大

5割2割

低所得者対策は

低所得者対策として保険税の均等割と平等割が軽減判定所得基準に応じて軽減(7割・5割・2割)されていますが、今回、5割・2割軽減の対象者を拡大。子供も大人も同じ負担割合(均等割)になることで影響を受ける多子世帯等への対策として、当町では、18歳まで子ども医療費無料化を、他市町村に先駆けて実施しています。

医者にかからないように! 疾病予防が大事!

脳血管疾患予防健康チェック(月1回)
(R1年度)

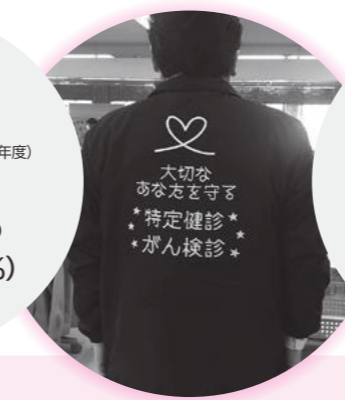
940人



特定健康診査受診率
(H30年度)

40.4%

(県平均35.6%)



人間ドック(368人)
脳ドック(621人)
(R1参加者)

35,000円

(県内トップの助成金)



ポイントためて、プラス景品!

プラス1000歩運動
(R1参加者)

1,006人

(3年連続1000人超)